

会報「石川守る会」 No.39 2007年9月30日

石川県重症心身障害児(者)を守る会
全国重症心身障害児(者)を守る会
石川県支部 会長 山本 衛

異常な暑さがいつまでも続いた今年の夏、会員のみなさま方、お子さま方体調を崩していらっしゃいませんか。酷暑の中お子様の体調管理に細心の注意を払われたこととお察し申し上げます。

さて、11月17~18日に金沢で開催される第19回東海・北陸ブロック大会の開催要項がようやくできました。まだ交渉中の部分も多少ありますが大枠の流れは決まりました。各県からたくさんの方々が参加されます。大会の運営には多くの皆さんの力が必要です。ぜひご協力の程よろしく申し上げます。

平成19年度 「石川守る会」 総会の報告



去る7月2日医王病院の会議室にて今年度の総会が開催されました。今年度は当会・北陸ブロック長の山田さんにも参加していただきました。

出席者43名、委任状32通で総会は成立しました。まず、10周年大会の成功、「食事について」の保護者研修会、全国大会をはじめとする各種大会への参加、県や市の担当者との懇談、レスパイト事業ハートポッポなど昨年度の事業報告がされました。また、東海・北陸ブロック大会の開催をはじめとする今年度の事業計画についても提案・了承されました。

また役員については長年理事としてお世話いただいた堂本さんがご高齢のために引退されました。長い間ありがとうございました。病气療養中の石川先生の代わりに大友順次先生に相談役をお願いすることにしました。大友先生は以前医王病院で子供たちと関わっておられたのでご存知の方も多と思います。こんど金沢に帰ってこられたとのことをお願いしたところ快く引き受けていただき、心強く思っています。

第44回「全国守る会」神戸大会に5名参加

6月16~17日に神戸で開催された全国大会に石川支部より山本夫妻、越坂夫妻、西田の5名が参加しました。当日は全国各地より1300名にも及ぶ参加がありました。今年度は重症児(者)を取り巻く環境が大きく変わる中で、生涯福祉施策の節目の年と位置づけた大会となりました。基調講演は日本重症児福祉協会の江草安彦理事長の「ゆずり葉のころ」と題したお話でした。

その後4つの分科会に別れ国立病院機構、厚生省、文部科学省から助言者を招いて討議がされました。2日目はみんなで語ろうで各地からの報告があり、要望書を探採して閉会しました。

7～8月の取り組み

猛暑の中さまざまな取り組みがありました。参加された皆様ご苦労様でした。

・東海・北陸ブロック「施設親の会」「在宅親の会」役員合同会議

7月28～29日に金沢市女性センターでブロック内の会議が開催されました。ブロック内各県より40数名の方が参加され、それぞれの会で意見交換がされました。石川支部からは山本会長、越坂さん夫妻、松田さん、久保さん、表さん、紺井さんが参加されました。

・石川県、金沢市の「福祉の集い」に参加

9月2日石川県産業展示館で「石川県障害者フェスティバル」が開かれ「守る会」も物品販売に参加しました。山本夫妻にがんばっていただき34,500円の売り上げがありました。

9月9日松ヶ枝福祉館で金沢市の「福祉のつどい」が開かれ、「守る会」もフリーマーケットを出店しました。「守る会」や「ハートポッポ」の展示もして皆さんに見てもらいました。越坂さん夫妻、西脇さん、松本さん、川場さん、田川さん、山田さん、西田さんにがんばってもらいました。売り上げは50,550円でした。

2日ともとても暑い日でしたが、参加された皆さん本当にご苦労様でした。売上金は会のために有効に使いたいと思います。

東海・北陸ブロック大会について

11月に金沢で開催される大会の内容がようやく決まりました。裏ページに要項が載せてありますのでご覧ください。

ブロック大会には毎年200名くらいの方々の参加があり、来賓の方も呼びしています。講演は在宅の重症児(者)の心強い支えになっていただいている横井小児科内科医院の横井先生にさせていただきます。また、石川県や金沢市の福祉担当の方にも施策についてお話していただく予定です。

ぜひ多くの方の参加とお手伝いをお願いします。また、会員以外の方にも呼びかけてください。

次の方々よりご寄付がありました。
有効に使わせていただきたいと思います。
ありがとうございました。

大野木春雄さん、西脇瑞枝さん
野間比南子さん、山本久男さん
和泉美知枝さん

——会員の現況——

新入会員
賛助会員 和泉さん
大友さん

正会員 81名
賛助会員 25名

・ 自立支援法についてワンポイント

低所得①煮該当する人の預貯金等の額が350万円以下から500万円以下に変更されました。詳しくは「両親の集い」5・6月号40ページ参照して下さい。

全国重症心身障害児(者)を守る会

第 19 回 東海・北陸ブロック大会

開 催 要 項

テーマ 障害者の立場に立って障害者自立支援法を考える

目 的 昨年4月1日障害者自立支援法の施行により、障害福祉施策始まって以来の大変革が始まりました。重症心身障害児(者)については、会の三原則のもと大会が進めてきた運動の成果により一定の配慮が図られましたが、障害者施策及び実施主体の一元化、施設・事業体系の再編ならびに障害程度区分の導入と応益負担への移行が重症心身障害児(者)に多大な影響を与えました。

子供たちの未来のため「最も弱いものを一人ももらさずの理念の基」に、この大会で東海北陸ブロックの会員、関係者が一堂に会し、障害者自立支援法をより良く理解し、福祉施策のさらなる充実に向け邁進して参ります。

主 催 全国重症心身障害児(者)を守る会東海・北陸ブロック
石川県重症心身障害児(者)を守る会

後 援 石川県、金沢市、石川県社会福祉協議会、金沢市社会福祉協議会、

日 時 平成 18 年 11 月 17 日(土) 13:00~17:00
平成 18 年 11 月 18 日(日) 9:30~12:00

場 所 【大会会場】 「石川県女性センター」
〒920-0861 金沢市三社町1番44号
Tel. 076-263-0115
【懇親会会場および宿泊ホテル】 「キャッスルイン金沢」
〒920-0852 金沢市此花町10番17号
Tel. 076-223-6300
【宿泊ホテル】 「金沢セントラルホテル」
〒920-0847 金沢市堀川町5番3号
Tel. 076-263-5311

参 加 費	3,000円	(障害者及び乳幼児無料)
-------	--------	--------------

参加者 東海・北陸6県の重症児(者)の親を中心に行政、医療、福祉、教育、施設など福祉関係者約200名

内容 金沢市における障害者支援と障害者自立支援法をより良く理解するため行政、福祉の現場、保護者それぞれ立場での現状を話していただくシンポジウム及び式典。

基調講演

演題 「小児科開業医による重症心身障害児へのかかわり」
講師 横井小児科内科医院 院長 横井 透 先生

福祉施策発表

金沢市の障害福祉施策や「障害者自立支援法」への取り組み、重症児(者)のおかれている現況をお話いただきます。

発表者

金沢市福祉健康局 障害福祉課 課長 不破 哲 氏

シンポジウム テーマ：障害者自立支援法をそれぞれの立場で考える

実務家および保護者の方々にお集まりいただき、障害者自立支援法の施行に伴う現状をふまえ、それぞれの立場で留意点や問題点を語っていただきます。

シンポジスト

石川県健康福祉部障害保険福祉課 担当者

今寺 誠氏 金沢市健康福祉局障害福祉課担当課長補佐

馬場正年氏 国立病院機構医王病院療育指導室長

表真奈美氏 保護者

山岸郁代氏 保護者

司会

大友 順治 氏 臨床心理士

前 国立病院機構長良医療センター療育指導室長

日 程

11月17日(土)	11月18日(日)
12:00~13:00 受付	9:30~11:50 シンポジウム
13:00 開会	11:50~12:00 次回開催挨拶
13:00~13:50 式典 主催者挨拶、来賓祝辞 来賓紹介、	閉 会
14:10~15:40 基調講演 横井小児科内科医院 院長横井透先生	
16:00~17:00 金沢市福祉施策発表 障害福祉課長 不破 哲 氏	
18:30~20:30 懇親会	